

県内アユ漁解禁

太公望いざ出陣

県内のほとんどの河川で1日、アユ漁が解禁された。延岡市の五ヶ瀬川には多くの釣り人が訪れ、さおを巧みに操りながらアユとの駆け引きを楽しんでいた。

同市北方町でも釣り人が膝から腰まで水に漬かり、アユのいそうなポイントを狙っては友釣りのおとりアユを泳がせていた。

毎年、解禁日には釣りに出掛けるという大分県

別府市の会社員花木光一さん(53)は「この日を心待ちにしていた。アユがかかってくれるのがうれしい」と満足そうに話していた。

五ヶ瀬川漁協(柳田昌徳組合長)によると、水量が少なく水温も低いため、アユの動きはまだ活発ではないが、例年に比べ天然物の遡上(そじょう)は多いという。友釣りは7~9月がピーク。漁期は12月末まで。



アユ漁が解禁となり、友釣りでかかったアユをたも網に取り込む釣り人

11日午後、延岡市北方町・五ヶ瀬川